

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画の名称

はつらつ高原交流都市づくり計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

福島県、田村市

## 3. 地域再生計画の区域

田村市の区域の一部（船引町移、瀬川、美山、文殊、要田地区）

## 4. 地域再生計画の目標

田村市は、阿武隈高原の中央に位置し、平成17年3月に、旧田村郡滝根町、大越町、都路村、常葉町及び船引町が合併して新設「田村市」として誕生した。当地域は、福島県の中核的都市である郡山市まで30kmの位置にあり、太平洋側の浜通り区域との結節点となる地域である。

当市では、それぞれの地域の発展が新市全体の発展には不可欠であるとの考えから、一極集中に陥ることのないよう都市機能を分散させるクラスター方式を採用し、旧町村固有の歴史や伝統、文化、特性を尊重した合併としている。

旧船引町は、町のほぼ中央部に田村富士と称される「片曾根山」が座し、山頂部にはパラグライダーのテイクオフエリアをはじめとする修景公園を、山麓には森林空間を活用したバンガローなどの都市交流施設を整備している。平成元年からは「パラグライダー里づくり事業」を行い、福島県のスカイスports基地としての整備を図ってきた。毎年8月には「東日本パラグライダー選手権大会」を開催し、関東圏などからの大勢の参加者が集い、これらの大会を通じて都市との交流を行っている。

また、移、瀬川、美山、文殊、要田地区（通称「北部地区」）においては、樹氷が美しい「移ヶ岳」、富士山に見える最北の山「日山」、穏やかな山容の多い阿武隈山系では珍しい奇岩の秀峰「鎌倉岳」などが豊かな大自然の景観を呈しており、四季を通じてトレッキングや登山に訪れる人々を魅了している。これらの自然資源を活かし、地区の活性化と周辺都市部との交流促進を図るため北部地区においては、農林水産省と国土交通省が連携し実施する「中山間・都市ふれあいの郷づくり連携計画」を策定し、「中山間・都市交流支援道路の整備」による郡山市等の都市地域と旧船引町北部を連絡する道路網の整備を実施し、日常的にアクセス

可能な生活圏形成を図っている。

さらに平成11年度より、県営中山間地域総合整備事業「あぶくま中部地区」を旧都路村、常葉町、船引町で行ってきた。旧船引町では農業生産基盤、生活環境基盤、交流基盤事業に取り組み、交流基盤事業では都市との交流促進に資するための多目的広場や休憩施設を施行している。また、広域営農団地農道整備事業（中山間活性化ふれあい支援農道型）移南地区（以下「広域農道移南地区」という。）の整備により中山間地域の農業振興、地域の農業農村の活性化を図る伝統文化の継承拠点への連絡、体験型農業やグリーンツーリズム展開への下地となる地域間交流活動を促す事業を実施している。

当市は、南西部に磐越自動車道が整備されていることから、主要都市とのアクセス条件は飛躍的に向上したが、当市北部地域からは既設の県道や市道が狭隘なうえ大きく迂回する経路となるため、高度医療圏域や高速交通体系へのアクセスがまだまだ不十分な状況にある。また、このような状況から都市部への所要時間を多く費やし、若年世代の郡山市などへの流失と、反面、都市部からの来訪者にも敬遠される二重苦的な立地となっている。

いま、都市部においては、自然環境や中山間地域の持つ農村の原風景的な景観の魅力が高まっており、地域の重要なインフラである道路のネットワークの整備を行い、地域の特徴的な資源を積極的に利用し、都市との交流をさらに促進し、元気のある「はつらつ高原交流都市」田村市を創ることを目指す。

（目標1）市道、農道整備による船引北部の横道地区から船引三春インターまでのアクセス改善（所要時間40分 25分）

（目標2）交流人口の増加（3千人 14千人）

## 5. 目標を達成するために行う事業

### （5-1）全体の概要

田村市の北部から船引三春インターまでのアクセス不足を解消するために、現在、事業実施中である「広域農道移南地区」の改築工事と「市道表3号線」の拡幅工事を行い、すでに改良済みである市道大山・柏塚線への接続を行う。また、「船引三春インターアクセス線」への改築を行い道路のネットワークを構築する。

「広域農道移南地区」(平成11年8月11日事業計画確定)

「市道表3号線」(平成4年3月24日認定)

「船引三春インターアクセス線」(昭和61年12月25日認定)

## ( 5 - 2 ) 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

道路交付金を活用する事業

〔施設の種類(事業区域) 事業主体〕

- ・市道 (田村市) 田村市
- ・広域農道 (福島県) 福島県

〔事業期間〕

- ・市道 (平成 17 ~ 21 年度)
- ・広域農道 (平成 17 ~ 21 年度)

〔整備量及び事業費〕

・市道 L = 2 , 0 0 0 . 0 m

・広域農道 L = 7 , 0 2 3 . 0 m

総事業費 3 3 億 1 千 630 万円(うち交付金 1 6 億 5 千 815 万円)

・市道 1 0 億円 (うち交付金 5 億円)

・広域農道 2 3 億 1 千 630 万円(うち交付金 1 1 億 5 千 815 万円)

## ( 5 - 3 ) その他の事業

中山間地域総合整備事業として、生活交流の文化活動の拠点整備を行う。

## 6 . 計画期間

平成 17 年度 ~ 21 年度

## 7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4 に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に関係する地域行政区長と住民より意見等を聴取し、達成状況の評価、さらに改善すべき点等について検討する。

## 8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

特になし

( 添付資料 ) 整備箇所図、地域再生計画区域図、工程表